2班 ワークショップ内容

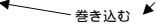
(1) 班内各意見の背景の確認

- ・前回話し合った分類を尊重し、カテゴリーの分類について話し合った。
- ・結論として、大きなくくりで「人づくり」、「交流」、「情報の公開と共有」の 3 点とした。

「人づくり」について

ホワイトボード板書

- ・まちづくり(コミュニティ)は人づくり
- ・コーディネイトのできるリーダー
- ・自ら動く
- ・ジジ・ババ・よそ者の大切さ+若者



発表内容

- ・「まちづくり」に不可欠なのが「人づくり」であり、リーダーの育成はもちろん、そ れを支えるためのコーディネーターの育成が大切である。
- ・人に言われるのではなく、自ら積極的に参加する意識を皆で作り上げていきたい。
- ・いろいろな人たちの意見にまず耳を傾けて、その知恵や意見をまちづくりに反映させ ていくことが大事である。

「交流」について

ホワイトボード板書

・コミュニティの規模、広さ、大きさ 形態は様々 集落・町内会の規模、広さ、大きさ

□運営を考えると…(人口)

各コミュニティの交流によるコミュニティづくり

・地域間

一体感の醸成

・世代間

自ら積極的な交流

- ・地域に人を戻す(パチンコ、個でのレジャー ...)
- ・シンボルづくり(ハードもソフト) 一体感、特徴、地域性
- ・上越の顔づくり(特徴)
- ・歴史、伝統、文化

発表内容

・「コミュニティ」という言葉についての各委員のイメージが「町内会」、「学区単位」 などそれぞれ異なっており、合併を機に他の地域との交流や世代間の交流、さらには 他市町村との交流を通して幅広い情報を得ることが大切である。そのためには、まず 「交流」を挙げるべきである。 「情報の公開と共有」について

ホワートボード板書

・共有の手段 発信、公開、提供... 情報を受ける側の意識、自ら求める 対話の大切さ、重要さ(双方で共有、一体感)

発表内容

- ・情報を共有することにより、地域の文化や伝統などを様々な人々に知ってもらい、そ うすることによって自然に「保存」という形になって繋がっていくのではないか。
- ・また、自分たちの地域を知るということも大切である。
- ・市から広報やホームページなど様々な情報発信がされているが、受け手はきちんと吸収できているか。
- ・顔を見て、人と人とが話をしながら伝えるのが一番良い方法だが、現実的にそれは困 難であり、これからどのようにしていくか。
- ・この「情報の公開と共有」が我々の課題ではないか。
- (2) 班としてのカテゴリーの決定

人づくり 交流 情報の公開、共有